

情熱のピアニスト

落語家にしてモーツァルトの転生を自認する

# 熊本マリ & 桂米團治

## 音楽劇

台本：桂米團治

## 『二人のモーツァルト』

不思議な取り合わせが  
くり広げる不思議なストーリー。  
劇あり、ピアノの名曲演奏あり、  
トークショーありの、  
めったにない！ 不思議な  
コラボレーションによる  
極上のエンタテインメントです。

©Shimokoshi Haruki



台詞をしゃべっているのが、米團治演ずるモーツァルト。そこに登場し、ピアノを弾きはじめる熊本マリ。不思議な劇はこうして始まり…。

米團治が「お前は何者」と尋ねれば、熊本は「モーツァルト」と答える。「オレがモーツァルトだ!」と米團治が言えば、熊本いわく「本当のモーツァルトはしゃべらない…」

【演奏曲】

- ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト作曲：
- ・K.1より K.1eメヌエット ト長調
  - ・ピアノソナタ第16番 ハ長調 K.545 第1楽章
  - ・オペラ《フィガロの結婚》序曲とアリア
  - ・熊本/米團治のピアノ連弾演奏 ほか

曲目は変更になる場合があります。予めご了承ください。

熊本 マリ (ピアニスト) [www.marikumamoto.com](http://www.marikumamoto.com)

10歳で家族とともにスペインへ渡る。王立マドリッド、米ジュリアード、英王立各音楽院に学び、英ニューポート国際音楽コンクール入賞、故ダイアナ妃より受賞。その活躍は国内にとどまらず、チェコフィルやベネズエラ響などと共演。2017年に発表し話題になったCD〈マリ・プレイズ・ギロック〉をはじめ、テレビ・ラジオ番組出演や執筆、著名人とのコラボ公演などで活躍し、幅広いファンの支持を獲得している。

桂 米團治 (落語家) [www.yonedanji.jp](http://www.yonedanji.jp)

関西学院大学文学部卒業。1978年父、桂米朝に入門。落語家でありながらピアノを趣味とし、ミュージカルやクラシック音楽に凝り、特にモーツァルト熱は重症。モーツァルトの生まれ変わりだと信じている。オーケストラとの共演やオペラと上方落語の合体「おべらくご」という新分野も確立した。趣味を謳歌しつつも、古典落語に純粋な心で向き合う。芸歴40周年を迎えますますます充実した芸人生の王道を行く。

平成30年 **9月9日** 日

14:00開演 15:50終演

(13時15分開場)

会場：**共立講堂**

東京都千代田区一ツ橋 2-2-1  
最寄り地下鉄駅より徒歩約5分  
(神保町駅 A8 出口、竹橋駅 1b 出口)

出演：熊本 マリ/桂 米團治

定員：1,200名

参加費用：無料。参加資格は問いません(6歳未満のお子様連れはご遠慮ください)

申込方法：裏面の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX・郵送・Eメールにてお申し込みください。

申込先：〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋 2-2-1 共立女子大学櫻友会 TEL: 03-3237-2791 FAX: 03-3261-4130

申込締切：平成30年7月31日 定員になり次第締め切ります。締め切りは櫻友会ウェブサイトにて発表します。

参加申し込みを受け付けた方には、後日8月以降入場券を郵送いたします。

団体でのお申し込みの方は、名簿を添付の上お送りください。(入場券は、お申し込み代表者にまとめてお送りいたします。)

主催 一般社団法人共立女子大学・共立女子短期大学櫻友会